

2016年5月10日

各位

オリックス株式会社
(コード番号：8591)

2016年3月期 当期純利益は前期比11%増の2,602億円 7期連続で増益、過去最高益を更新

2016年3月期（2015年4月1日～2016年3月31日）の米国会計基準連結決算において、営業収益は前期比9%増の2兆3,692億円、税引前当期純利益は同14%増の3,913億円、当期純利益は同11%増の2,602億円となりました。当期純利益は7期連続で増益となり、2015年3月期に引き続き、過去最高益を更新しました。また、1株当たり年間配当金は、前期の36円から45.75円へと27%増配します。

■ 主な経営指標の推移

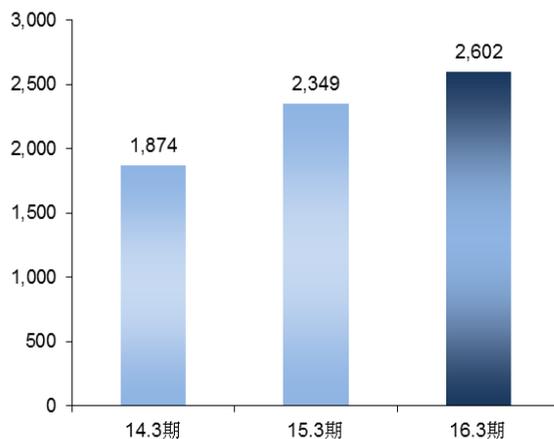
	2015年3月期	2016年3月期	増減率
営業収益	21,743億円	23,692億円	9%
税引前当期純利益	3,440億円	3,913億円	14%
当期純利益 ※	2,349億円	2,602億円	11%
株主資本当期純利益率 (ROE) ※	11.5%	11.7%	—

	2015年3月期	2016年3月期	増減率
総資産	114,436億円	109,969億円	▲4%
セグメント資産	91,702億円	89,724億円	▲2%
株主資本 ※	21,522億円	23,104億円	7%
株主資本比率 ※	18.8%	21.0%	—

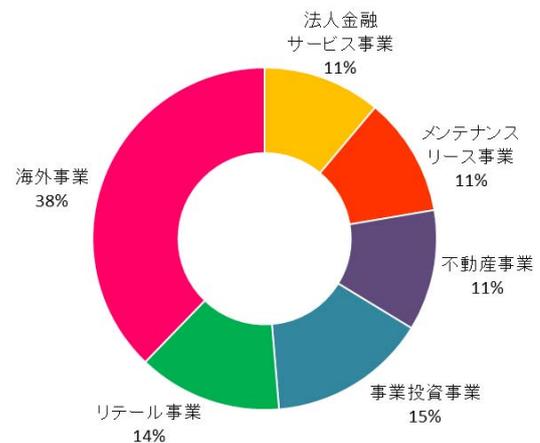
※「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本当期純利益率(ROE)」「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』

(単位：億円)



『16/3期のセグメント利益内訳』



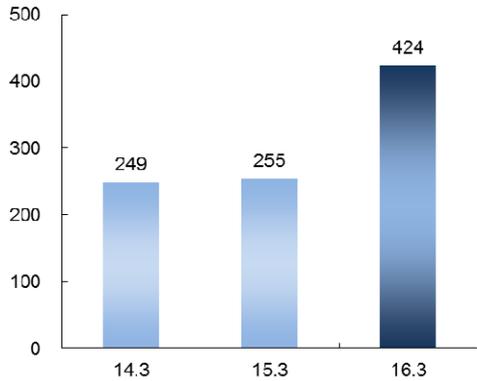
■ 各セグメントの業績概要（2015年4月1日～2016年3月31日）

当期は、2015年3月期に旧ハートフォード生命の買収に伴うバーゲン・パーチェス益を計上したリテール事業部門を除く5つの事業部門の利益が伸長しました。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

<セグメント利益> (単位：億円)

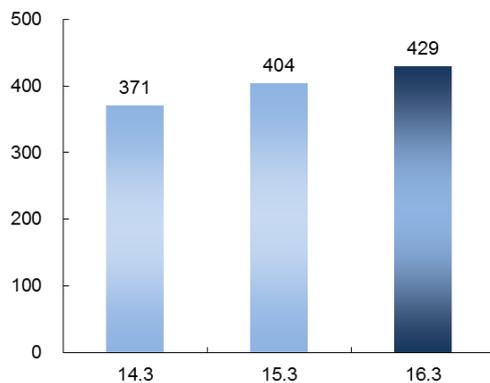


- ・2014年12月に買収した弥生と、太陽光パネルや生命保険販売などの法人向け手数料ビジネスからの利益が増加。
- ・当第1四半期および第3四半期に出資先の株式売却益を計上。
- ・セグメント利益は、前期比66%増の424億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース

<セグメント利益> (単位：億円)

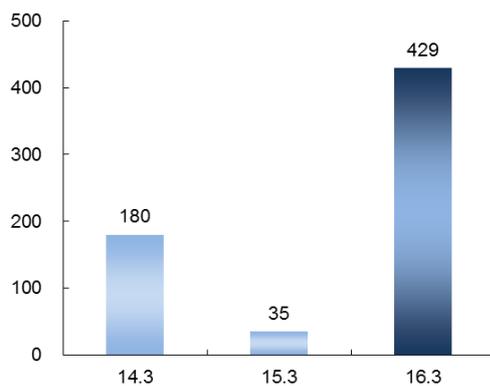


- ・自動車事業のリース資産が順調に拡大し、リース収益が増加。
- ・車両管理などの付加価値サービスからの収入も増加し、収益性は高水準で推移。
- ・セグメント利益は、前期比6%増の429億円を計上。

【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

<セグメント利益> (単位：億円)

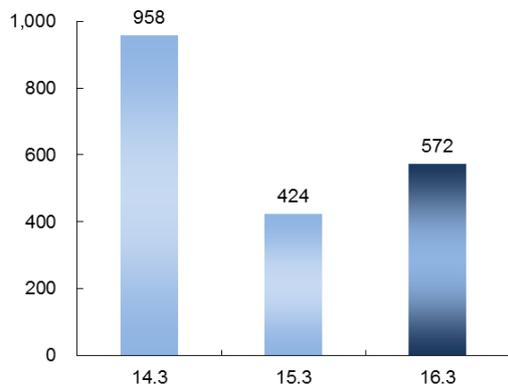


- ・訪日観光客の増加などにより、ホテル・旅館などの運営事業が好調。
- ・活況な不動産市場を背景に、不動産売却益が増加し、保有資産の評価損も減少。
- ・セグメント利益は、前期比約12倍の429億円を計上。

【事業投資事業部門】

環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）

<セグメント利益> (単位：億円)

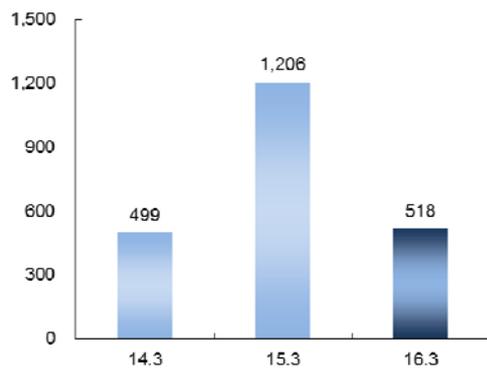


- ・投資先からの収益や投資先の株式売却益、ならびに大京のマンション分譲売上が増加。
- ・開発中のメガソーラーが順次稼動するなど、環境エネルギー事業の収益が順調に増加。
- ・セグメント利益は、前期比 35%増の 572 億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

<セグメント利益> (単位：億円)

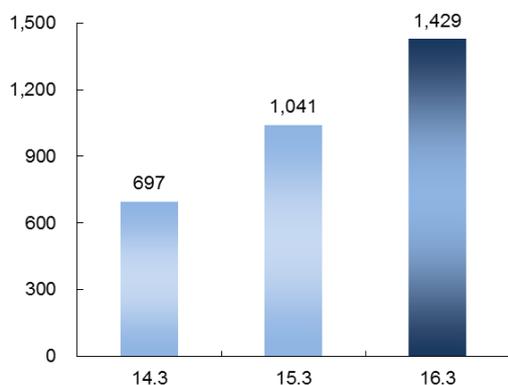


- ・2015年3月期は、マネックスグループの株式売却益（約 150 億円）およびハートフォード生命買収に伴うバーゲン・パーチェス益（約 360 億円）を計上。
- ・生命保険の保有契約件数の増加による保険収益が順調に伸長した一方で、運用収益が減少。
- ・セグメント利益は、前期比 57%減の 518 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、アセットマネジメント、船舶・航空機関連

<セグメント利益> (単位：億円)

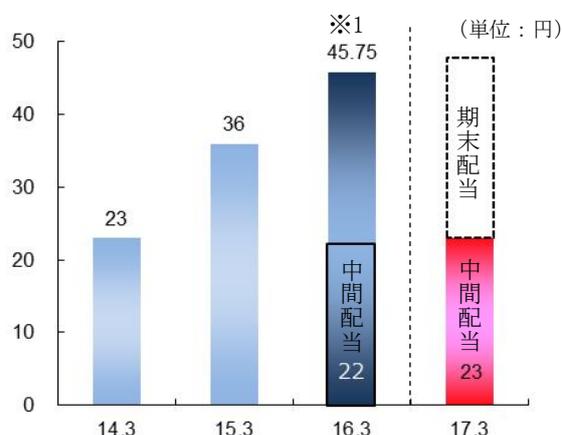


- ・米州の投資先からの収益の増加、および航空機リース資産などの拡大による収益が増加。
- ・当第2四半期に Houlihan Lokey, Inc. の新規株式公開に伴う株式売却益と評価益を計上。
- ・セグメント利益は、前期比 37%増の 1,429 億円を計上。

■ 当期の配当金および次期の配当予想について

利益成長を踏まえて、当期の1株当たり配当金（年間）は、前期の36円から9.75円増配し、前期比27%増の45.75円とします。

なお、次期（2017年3月期）の1株当たり中間配当金の予想額は、23円とします。



※1 2016年3月期の配当金額は、計算書類の法定監査を経て、2016年5月23日に開催される取締役会において正式に決定される予定です。

■ 中期的な経営目標について

2015年5月に公表した中期的な経営目標については、2017年3月期もその目標を継続します。

【目標とする経営指標】

資本効率性と健全性を維持しながら、安定的な利益成長の実現を目指します。

利益成長	2018年3月期当期純利益 3,000億円
資本効率性	ROE11～12%
健全性	格付A格維持

【中期的な方向性】

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、中期的な経営目標として「非金融事業の拡大」による継続的な利益成長を掲げています。

「非金融事業の拡大」に向けた取り組みとしては、“既存事業の成長” “重点分野への新規投資” という方針のもと、環境の変化に応じた新たな事業へ挑戦していきます。

“既存事業の成長” においては、強みと専門性をさらに深掘りし、国内では手数料ビジネスや自動車事業、不動産運営事業、生命保険事業などの拡大を進めるとともに、海外では自動車事業やその他非金融事業への多角化を推進します。

“重点分野への新規投資” においては、国内外での環境エネルギー事業およびプライベートエクイティ投資の推進、アジアのネットワークの拡充、アセットマネジメント事業のグローバル展開、コンセッション事業の拡大を重点分野と定め、継続的に実行します。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 堀井・中村 TEL : 03-3435-3167